第１０４回常設審議委員会

農業会議は11月20日、第１０４回常設審議委員会を大阪市内・ＪＡバンク大阪信連事務センターで開いた。

第1号議案の農地法第４条及び第５条の規定に基づく意見聴取に回答する件（箕面市、貝塚市、泉南市、堺市、太子町、富田林市、羽曳野市、東大阪市、枚方市、交野市農業委員会会長）22件（２万４６４３平方メートル）を許可やむを得ないと認め、回答することを議決した。

委員から開発予定地区の地質調査（一時転用）案件について、過去にも同じエリアで出ているのではとの質問があった。説明者からは1回目は土木工事の調査、2回目からは建築工事の調査であると説明があり、委員からは市の環境影響評価審査会に係る案件で高盛土があるので、都市整備部と連携し、スケジュールを把握するように努めるようにとの意見があった。

【第1号議案】

	件数	面積（平方メートル）
第４条	5	３７７７
第５条	17	２万　８６６
合　計	22	２万４６４３

（農地区分別件数は、３種農地16件、２種農地４件、１種農地１件、農用地区域内農地１件）

新団体会員代表者紹介

能勢町長に岡田氏
阪南市長に上甲氏

10月20日、能勢町長選挙の投開票が行われ、新たに岡田正文氏が10月24日付けで能勢町長に就任した。

岡田正文氏

また、10月27日、阪南市長選挙の投開票が行われ、新たに上甲誠氏が11月12日付けで阪南市長に就任した。

両氏は就任日と同日付けで能勢町、阪南市からの届け出により府農業会議の団体会員代表者に就任した。

上甲誠氏

各地区連で視察研修

泉南地区農業委員会連合会（会長・茂野憲一岬町農委会長）は11月11日に奈良県内で視察研修を実施。橿原市農委の農地利用最適化活動のほか、明日香村地域振興公社の取り組みについて研修を受けた。

中河内地区農委連合会（会長・大西博東大阪市農委会長）は11月14日に滋賀県内で研修を実施。守山市農委との意見交換のほか、アグリパーク竜王などを見学した。（北川）

統計調査にご理解ください
（2025年農林業センサス）

農林水産省では、令和7年2月1日現在で「２０２５年農林業センサス」を実施します。

農林業センサスは、農林業の実態を明らかにし、国や都道府県、市区町村はもちろん各方面にわたり、広く利用できる総合的な統計資料を得るための調査です。全国の農家や林家をはじめ、すべての農林業関係者を対象に行われる『農林業の国勢調査』ともいうべきものです。皆様のお宅や会社等に調査員が調査に伺いましたら、ご協力をお願いします。

パソコン・スマホ等からスムーズに回答も可能です

農林業センサスは、調査員による聴き取りだけでなく、パソコンやスマートフォン、タブレットで回答することもできます。24時間いつでも回答可能で、回答が必要な調査項目が個別に表示されるため、流れに沿ってご回答いただけます。

なお、回答データはセキュリティ対策により安全に守られ、統計法で認められている統計の作成・統計的研究及び他の統計調査の名簿作成にのみ使用されます。統計以外の目的では使用されません。

（キャンペーンサイトQRコード）

（大阪府総務部統計課産業・労働グループ提供）

大日本農会農事功績表彰
寝屋川市・南　保次氏

元大阪府農業経営者会議副会長で、元寝屋川市農業委員会農業委員の南保次氏（62）が、令和6年度大日本農会農事功績表彰で、緑白綬有功章を受章した。

南保次氏

継承した大規模水稲作経営にイチゴの観光農園を導入し、環境制御機器による合理的な肥培管理で高品質・高収量を確保するとともに、ブドウ栽培を加え年間を通じた観光農園経営を確立。また、小中高生等の食農体験や交流イベント等を通じて、都市農業についての地域住民の理解を促進してきたほか、府「農の匠」として農業大学校生を受け入れ、担い手の育成にも尽力したこと等が評価された。